

会計士の歩き方

台湾

私たちは台湾で働く日本人公認会計士のお二方にお話を伺いました。その中から、私たちの班が特に印象に残ったことや学んだことを、公認会計士として活躍されているお二方の人物像を軸にまとめます

・はじめに

「公認会計士は真面目で機械的、普段から計算ばかりしていて人と会う機会がないのでは？」そんな会計士の人物像を出国前に漠然と考えていました。

しかし、実際に顔を合わせて話をしてみると、持っていたイメージの間に大きなギャツ

プがあり、固定観念はすぐに打ち砕かれました。まず初めに素敵な笑顔、気さくな話から始まり、学生の名前や性格を一つ一つ読み取っていく姿勢、緊張していた我々もお二方が創り出す、素晴らしい雰囲気にも包まれたおかげで次第に質問を気兼ねなくできるようになっていました。

職場では常に外国人とのコミュニケーションを取るお二方の、叩き上げられたコミ



ユニケーション力にシンプルな尊敬の念を持ちました。そして、我々学生は何か一つでも自らの将来の学びを得ようという気持ちで、この場に挑みました。

EY台湾の公認会計士が

語る会計士の魅力

この度お世話になった公認会計士のお二方

EY台湾パートナー 橋本純也先生

橋本先生は EY 台湾の現地パートナーとして、EY 新日本から EY 台湾へと籍を移し、監査だけでなく、日本と台湾の企業を繋ぐ仕事など幅広い業務に携わっています。EY 新日本時代には、兼ねてから興味のあったテレビ局や IPO など監査業務はもちろん、様々



な内容の業務を経験されました。台湾で働くことになった経緯や、会計士業界の今昔の比較など、学生の気になる話題を詳細に教えていただきました。

そんな橋本先生の第一印象 dandyー

今まで出会ってきた人の中で、ダントツに襟が横に開くVシャツを着こなしていたことです！

ET 台湾シニアマネージャー 川口容平先生

川口先生は現在ロイ新日本からロイ台湾へ出向されており、以前日本では橋本さんと同様に業種を超えて様々な内容の仕事を経験していました。そのあと、自身のステップアップを意識して、台湾へ来られました。終始とても気さくでありながらも誠実さを兼ね備えた印象でしたが、我々の訪台前日に家の鍵を台北の街中に落とすと言う意外な一面も兼ね備えている人間味溢れる方でした。

そんなお二方にいくつか質問をぶつけてみました。

Q. 公認会計士の魅力は何ですか？

橋本先生

「会社から信頼される監査を終えた時がやりがいを感じられる瞬間です。第三者の立場から企業の財務情報を保証（アシュアランス）する必要があると監査の仕事を果たせることで専門性が認められたといえるからです。」

川口先生

「お客様に喜ばれることが多いことがやりがいにつながります。監査以外にも、ビジネスを始める前に相談を受けることがあり、幅広い分野で企業を支える役割をもっています。感謝されることが多い仕事だといえます。」

お二方とも共通するのは、公認会計士として身に着けた高い専門知識を生かし、クライアントの期待に応えることができた際にやりがいを感じる点が、魅力だということです。

それに加えて、公認会計士業界は女性の進出がしやすいとされています。産休や育休制

度の充実、さらには復職をしやすいという環境が整っている点も魅力の一つだと話されていました。

初任給を含めて他の業界よりも高収入な点や繁忙期を除いてまとまった休暇が取れる点も公認会計士の魅力だと述べていました。

そして何より自己を鍛え成長できる環境が整っている点も公認会計士として働くよさだとおっしゃっていました。とくに、EYでは育休の取得率が高い点、女性の公認会計士が増えている点を述べていました。

旅行が趣味の一つである橋本先生や川口先生は、沖縄へ家族でクルーズ旅行に出かけて余暇を楽しんでいるなど、様々なエピソードを聞くことができました。

橋本先生・川口先生も自分がやりたいことを会計士として全力で取り組んでいて、自分のやりたいことを行えることが会計士の魅力であるというお話をしていました。私たちの班では、やりたいことが見つかっていない人にとって、改めて自分を見つめなおすキツ

カケとなり、すでに公認会計士を志す者にとっては目標を再確認するキツカケとなりました。

橋本先生の魅力

そんな台湾で働くお二人の魅力をさらに深堀していきたいと思います。これを読んで将来、お二人と働きたいという人も出てくるかもしれません！

海外に飛び出す行動力

まずは橋本先生の魅力をお話しします。一つ目は慣れ親しんだ国を飛び出し、海外で挑戦するという行動力です。

外務省によると海外で働く日本人は約1パーセントだとされています。海外で働く選択をする人が決して多くないにも関わらず、海外で働くという選択をした行動力に人間としての魅力を感じました。

また会計士になる以前に橋本先生は「起業をしてビジネスをしたい」、「将来は某テレビ局に入局し、こんな仕事に携わりたい」など明確な意思を持った学生だったそうです。日々の勉強だけでなく、何のために学ぶのかを考えさせられる一幕が印象的でした。



家族を含めて台湾への移住を

決断した覚悟

言語や文化など全く異なる海外に移り住む決断をした橋本先生。自分だけでなく家族にも大きな影響を与えることは大学生の私たちでも容易に想像できます。

そんな家族に対する責任を理解したうえで決断し、海外で挑戦を決めた力強い覚悟を感じました。

EY台湾パートナーとして専門性

をもって海外で成功した実現力

EY台湾パートナーとして求められる高度なスキル、会計士という専門的な知識だけでなく、さまざまな状況に柔軟に対応するために必要な思考力や経験、ビジネスの場において使用される専門用語を含んだ中国語コミュニケーション…

橋本先生は台湾で、ほぼゼロから学中国語

を学んだそうです。「中国語は全然しゃべれないよ（笑）」とおっしゃっていましたが、現地支社長ととても流暢に会話されていてビックリしました。

専門家として活躍されている裏には、目に見えないたくさんの努力をしているはずです。努力の積み重ねであるプロフェッショナルな姿に強く惹かれました。

川口先生の魅力

人生を豊かにするための仕事

人生の楽しみ方

川口先生は結婚する時に奥さんとの約束で、年に一度海外旅行に連れていくなど、日常の楽しみを大切にしているとおっしゃっていました。

それだけでなく自らを高めるために日々仕事に取組み、そのために台湾（海外）で経験を積んでいる最中だともいっていましたが、大学生の私たちはアルバイトや仕事はお金を稼ぐためにするという考えがあったため、自分の固定観念を覆すような人生観を体現している姿に心を打たれました。



日本と台湾の架け橋になりたい

仕事に対する志

川口先生は台湾での日々の業務で、情報を正しく把握する力を磨き、相手の気持ちを考えながら、目の前のことだけでなく俯瞰的に物事を捉える視野を持つことを意識しているとおっしゃっていました。

日本と台湾、多様な考えを持つ人々との出会いや様々な考えの違いを前向きに受け止めており、意見の衝突などをデメリットと考えず、柔軟な考えをもって日々の業務を楽しむ姿をみました。

そして、日台の架け橋となる川口先生の豊かさや話し方、所作、いたるところに川口先生の誠実さが溢れていました。

「公認会計士として、日々異なる案件に組みながら、挑戦し変化とともに業務を行っていく必要がある。」

常に前進されてきた結果の今の姿だけでなく、その先の自身を見据える姿勢に多くのことを学びました。

ウイスキー作りと海外で働く

公認会計士

実は私たちは、プログラムの一環で台湾ウイスキーを製造する KAVAIAN 蒸留所も訪れています。

私たちが KAVAIAN 蒸留所で見えた原材料（モルト）だとすれば、あるいはポットスチル（蒸留器）から樽詰めされた直後のウイスキー（新樽）だとすれば、我々の目の前に立っているお二方は、年代標記された銘酒、あるいは特級品といったところででしょうか。

いずれにせよ、我々とは色、香り、甘み、月日の経験から生まれる苦みや渋み、丸く削れた角や一層引き立った個性、一言でいうならば長年の熟成によって生み出される奥行きや奥深さ。

今回の研修では原材料（大学生）である我々が、お二方それぞれが築き上げられた、熟成樽から貴重な生の原酒、ほんの少し試飲させていただいた。

それぞれの経験や価値観、特に仕事に対する真摯な姿勢、人生を豊かにするために重きを置く考え方だ、海外で働くプロフェッショナルだからこそ聞ける話の数々は我々学生にとって他に変えがたい経験となりました。「良い酒はあっても悪い酒はない」研修の最後の夜、濱村教授が語った言葉

「呑みたいものを呑んでいる人が一番偉い」これらの言葉を含めて、お酒を飲めない年齢の我々に、最後に濱村教授が呟いた言葉です。この言葉にはこれからの人生を考える上でも自分がやりたいことをやるように目標を持って日々努力する、そういった意味が込められているのではと考察しました。

奥田君を育て隊

片山紗瑛 森川珠姫

一方井杏弥 柏原健智 奥田悠貴